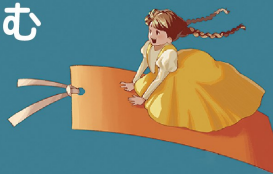


図書館だより



私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



中央図書館では、読書週間に合わせて、本の展示・貸出やイベントを行います

2階 児童書フロア

本でごちそう!フルコース

食欲の秋  おいしいものが出てくる本を集めて、コース(ジャンル)別に展示します。

コース内容

- 1 ドリンク・スープ
- 2 サラダ・野菜
- 3 パン・ごはん・麺
- 4 メインディッシュ
- 5 デザート・スイーツ



展示期間

10月26日(木)～11月19日(日)

3階 一般書フロア

覆面図書館



～中身のわからないお楽しみ本～

図書館員が選んだ本を、どんな本なのかわからないように包んで展示します。

図書館員が書いたコメントを頼りに、何の本なのか考えてみてはいかがでしょうか。

思いがけない本との“運命の出会い”があるかもしれません。

展示期間

10月20日(金)～11月19日(日)

一般向け映画会



『天使のいる図書館』(108分)

『つつんで、ひらいて』(93分)

日時

10月22日(日)14時～16時

11月19日(日)14時～16時

場所

中央図書館 4階 視聴覚室

内容

図書館の新人司書・吉井さくらは、“レファレンスサービス”という慣れない仕事にとまどいながら過ごしていた。ある時、芦高礼子と名乗る老婦人と出会い、さくらは図書館利用者と司書の関係を超えた特別な感情を抱きはじめる。

ブックデザイン界の巨匠「装幀者」菊地信義。彼を3年間追いつけたドキュメンタリー。彼の製本にいたるまでの「ものづくり」の過程や、彼の愛弟子の装幀家、編集者、印刷業者など、本づくりに懸ける人々を真摯に見つめる。

定員

各30名(先着順)

申込み

10月4日(水)9時30分から受付(電話・電子申請可)



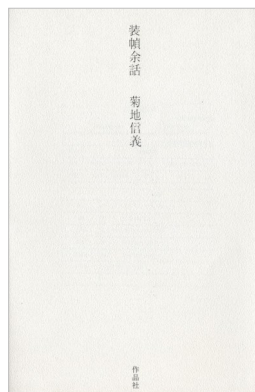
申込みはコチラ

本の紹介

読書週間「私のペースで しおりは進む」にちなみ、

装幀の世界の奥深さに浸りながら

『装幀余話』



菊地 信義／著

作品社

022.5キ



2022年に逝去された装幀家(本の表紙などをデザインする専門家)の菊地信義氏が生前語った本と装幀への思いが綴られています。生涯で一万五千冊以上の装幀を手掛け、日本のブックデザイン史に大きく名を残した彼の姿から、本づくりの本質や奥深さが見えてきます。

好きなところからサクッと

『野菜と果物すごい品種図鑑』



竹下 大学／著

エクナレッジ

626.1 タ

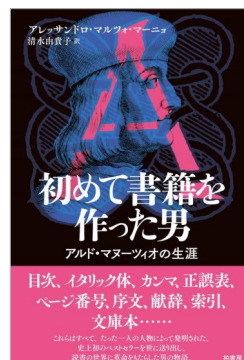


27種類の野菜・果物の品種の紹介だけでなく、歴史なども載っていて、食べたことがあるものから聞いたこともないものまで、フルカラーでどのページも楽しく読めます。日本原産の作物はとて少なく、殆どが日本に持ち込まれていたことには驚きです。まずはこの季節、リンゴやサツマイモはいかがでしょうか。

ルネサンス期の本の誕生に思いを馳せながら

『初めて書籍を作った男』

アルド・マヌーツィオの生涯』



アレッサンドロ・

マルツォ・マーニョ／著

清水 由貴子／訳

柏書房

289.3マ



私たちが普段何気なく読んでいる「本」は、読みやすくするための工夫に満ちています。目次、ページ番号、句読点、索引、文庫本はすべて今から約500年前、たった一人のイタリア人によって生み出されたシステムです。人類の歴史に大きな革命をもたらしたアルド・マヌーツィオの生涯に触れてみませんか。

「なるほど!」と頷きながら、ゆっくりと

『がんばらない敬語』

相手をイラッとさせない話し方のコツ』



宮本 ゆみ子／著

日経BP 日本経済新聞出版

815.8 ミ



敬語を正しく覚えることは大切ですが、相手と話しをするとき、「頑張って」敬語を使うことよりも、一番大切なのは何かを気づかせてくれる本です。頑張って敬語を使い過ぎてしまっかえって変な日本語になってしまった、「敬語は難しいなあ」と思っている方に、肩の力を抜いて読んでいただきたい一冊です。

図書館員がおすすめの本を紹介します

家族と一緒にじっくり考えながら

『家族でそなえる防災・被災ハンドブック』



天野 勢津子／作・絵

イースト・プレス

369.3 ア



地震に関する日頃の備えから発生時のこと、避難所生活、被災後の健康管理やお金のことまで書かれています。章ごとに分かれていて、イラストも多く分かりやすいため、家族で一緒に読むのもおすすめです。今年は、関東大震災から100年の節目の年、これを機に、防災や減災について考えてみませんか。

マンガだから手軽に読みやすい

『マンガでわかる愛と謀略の源氏物語』

華麗なる平安恋物語の舞台裏』



柴田 純子／著

山本 淳子／監修

誠文堂新光社

913.3ム



愛と政治が表裏一体の平安時代。そんな時代を舞台に輝く光源氏たち『源氏物語』の登場人物をマンガで解説しています。『源氏物語』を読んだことがない方も、すでに知っている方もおすすめです。2024年大河ドラマの主人公は紫式部ですので、ぜひこの機会に紫式部の世界を味わってみてください。

2022年以降に出版された
本の中から選びました



好きな時に好きなところから自由に

『イラストで読む建築日本の水族館五十三次』



宮沢 洋／著

青幻舎

523.1 ニ



水族館の主役である生物を紹介する本ではありません。水族館の構造やデザインに着目して、水族館53館を紹介しています。建築デザインというと、「難しいのかな?」と感じてしまいがちですが、写真とイラストで分かりやすく解説されています。水族館の新たな楽しみ方を見つけられるかもしれません。

最後までいっしょに

『両手にトカレフ』



ブレイディみかこ／著

ポプラ社

913.6 ブ



イギリスの貧困家庭で育った14歳のミアは図書館でカネコフミコという日本人女性の自伝と出会い、フミコに自分を重ねます。「言葉や本はこことは別の世界に繋がっている」、そう考えるミアの「世界」は、同級生や周りの大人たちによって変わっていきます。ヤングケアラーについても考えさせられるお話です。

中央図書館 イベント情報

狭山市地域文庫連絡会による絵本を感じるおはなし会

日 時 10月24日(火) 10時30分～11時30分
場 所 中央図書館4階 視聴覚室
内 容 おすすめの絵本やわらべうたなどの紹介
対 象 絵本に興味のある方(お子さんも一緒にどうぞ)
その他 お子さんが遊べるスペース有
定 員 40名(先着順)
申 込 10月17日(火) 9時30分から受付(電話・電子申請可)



野菜作りのコツと裏ワザ講座

日 時 11月15日(水) 14時～16時
場 所 中央図書館4階 視聴覚室
内 容 農山漁村文化協会の職員が野菜作りのコツと裏ワザを紹介
定 員 20名(先着順)
申 込 10月18日(水) 9時30分から受付(電話・電子申請可)



16ミリ友の会による子ども映画会

日 時 11月25日(土) 14時30分～15時20分
場 所 中央図書館4階 視聴覚室
内 容 16ミリフィルムによる子供向け映画の上映
作 品 「3丁目物語 秋」、「大造じいさんとがん」
定 員 20名程度(先着順)
申 込 11月17日(金) 9時30分から受付(電話・電子申請可)



狭山台図書館 イベント情報

狭山台体育館
狭山台図書館HP

11月26日(日)に、さやまだいまつりが開催されます!
謎解きゲームやネイチャーゲーム、ビブリオバトルなど、楽しいイベントが盛りだくさんです♪
詳細は、狭山台図書館HPなどをご確認ください。



狭山市立図書館

中央図書館 Tel04-2954-4646 / 狭山台図書館 Tel04-2958-3801

狭山市公式ウェブサイト <https://www.city.sayama.saitama.jp/>

【市政情報】⇒【各施設】⇒【文化・労働施設】⇒【図書館】へ

狭山市立図書館HP <https://sayamalib.jp/>

狭山市公式ウェブサイト



狭山市立図書館HP

